

国際的視野を広げる

令和3年度 冬休み前集会

皆さんは「AI」って言葉
知っていますよね？

そうです。

人工知能

のことです。

それじゃ、「IoT」は
知っていますか？

Internet of Things
の略で、「モノのインター
ネット」と訳されます。

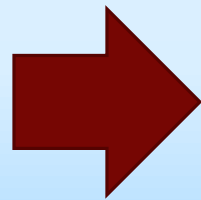
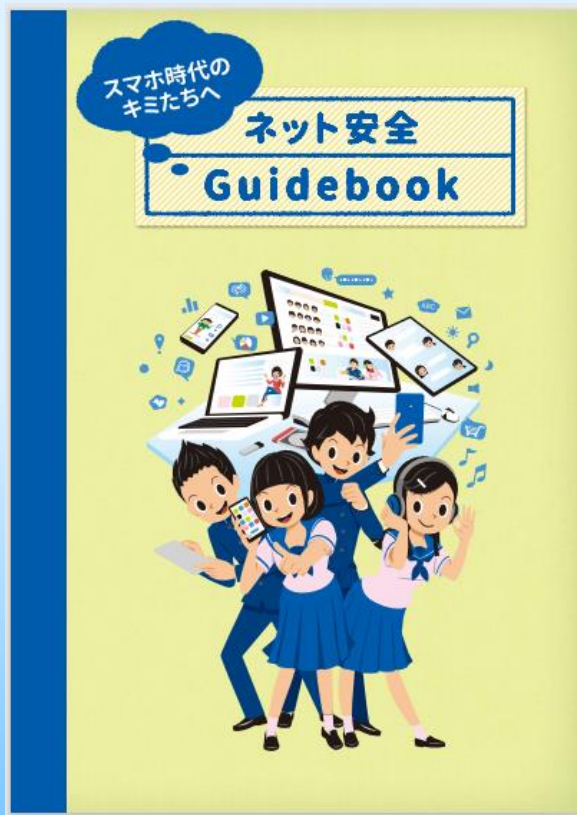
一言で言うと、

パソコンやスマホ、タブレットだけで

なく、あらゆる「モノ」がイ

ンターネットにつながる

詳細は、おとといの朝の会で使った 「スマホ時代のキミたちへ ネット安全 Guide book」のP. 11～12を



モノのインターネットで、 世界がカワル!

モノのインターネット (Internet of Things=IoT) とはパソコンやスマホ、タブレットといったものだけではなく、さまざまな「モノ」がセンサーと無線通信によりインターネットに接続することをいいます。スマートウォッチは時計本来の機能に加えて、電子決済をすることができたり歩数や心拍数などをほかったりすることができます。また、IoTは身に着けるモノだけではなく、冷蔵庫やテレビ、エアコンといった家電にまで広がりました。外出先からでも家電を通して自宅の様子分かるようになったのです。このような住環境を「スマートホーム」といいますが、IoTは家の中でだけでなく街全体に広がろうとしています。「スマートシティ」がそれです。街の中のあらゆる「モノ」がネットワークにつながることで私たちの暮らしはより合理的になっていくかもしれません。

身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる!

IoTが可能になったそのワケは?

センサーをはじめとする装置の小型・軽量化が格段に進歩し、スマホを中核としたインターネット接続ができ、さらに長時間のインターネット接続にも低消費電力で対応できる技術の発達でIoTが可能になったんじゃないか!

IoT=Internet of Thingsがモノのインターネットのこと。

ニーズに合ったさまざまなサービス ～スマートロックから見守りまで～

IoT化によって、住宅に設置されたセンサーや家電などがネットワークに接続できるようになったことで、新たなサービスも生まれています。例えば外出先から鍵の状態を確認し、開錠・施錠を行える「スマートロック」もその一つ。最近では、インターネットを介して、宿泊施設の鍵し手(ホスト)と借り手(ゲスト)を仲介する、いわゆる民泊において、このスマートロックを活用するケースが増加しています。スマートロックを利用すれば、ホストは期限付きの鍵(暗証番号)をゲストにメールやSMSなどで伝えるだけで、ゲストはその鍵を使って、自分の好きなタイミングでチェックインすることができます。民泊における鍵の受け渡しの負担や、鍵の紛失などのトラブルを心配する必要もなくなるのです。他にも、ドアの開閉に反応するセンサーから子どもの帰宅・外出を確認できるサービスや、人感センサーで一人暮らしの高齢者の見守りを行うサービスなども登場。今後もIoTは私たちのさまざまなニーズを満たし生活を大きく変えていくかもしれません。

5Gもたらす

スマートウォッチでは持ち主の体調管理に役立つデータの収集ができますが、米国では事故で意識を失った際、持ち主の反応がないことからスマートウォッチが自動的に救急に位置情報を通報して命が助かった事例も報告されています。

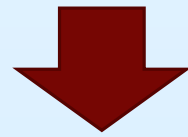
11

12

今後は「モノ」だけでなく、世の中のすべてがインターネットにつながる

IoE (Internet of Everything) になる

AIやIoT (IoE) に欠かすことが
できない工業部品



半 導 体

はん どう たい

現在、世界的な半導体不足

そのような中、
半導体製造の世界最大手、台湾の

「TSMC」が

熊本県(菊陽町)へ進出することに

皆さんが生きていく社会は

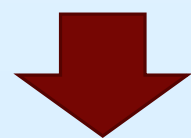
世界と競争したり

世界と依存し合ったりが

さらに進むであろう

グローバル社会

皆さんは9ヶ月間（4月～12月）で
いろいろな学習にタブレットを活用
できるように



言い換えれば

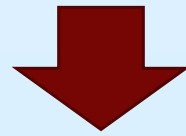
世界とつながる手段を
身に付けつつある

ただし、それだけで世界とつながることができるのか……？

もちろん「英語」

それに「国際的視野」

「国際的視野を広げる」
とはどういうことでしょうか？



校長から皆さんへの冬休みの宿題です。
皆さんの考えは、冬休み明け集会で
聞きます。

今日はここまでですが、一応お決まりで……

いつ国際的視野を広げるか

今でしよ！

この中学生期でしよ！